

授業科目名	グルーミング実習Ⅰ		科目コード	2503013	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	動物園・水族館・ドッグインストラクターコース	学 年	1 年
担当教員	植村 和代、安樂 拓也、日高 翔太				
	実務経験教員（ ☒ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 JKC公認トリマーB級 ペットショップ、動物病院にて勤務経験				
開講時期	前期・ ☒ 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	80 時間	
	☒ 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト1	書 名	最新犬種図鑑 写真で見る犬種とスタンダード			
	著 者	一般社団法人 ジャパンケネルクラブ			
	出版社	株式会社 EDUWARD Press			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	最新ドッググルーミングマニュアル				
授業形態	講義 ・ 演習 ・ ☒ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）				
＜授業の目的・目標＞ 動物病院やペットショップでも戦力になるよう基本の手入れができるように、犬の扱いやグルーミング道具の扱いなどの基礎を学ぶ。また、全国動物専門学校協会サロントリマー3級取得を目標に実習を行う。					
＜授業の概要・授業方針＞ 爪、耳の手入れ 肛門腺の処理 バリカンの作業 ペイジング（シャンプー）を指導する。 また、作業をする上で犬の骨格、体型を把握しその実習犬に合った犬の扱い方を理解させる。					
＜成績基準・評価基準＞ 出席率での評価となる。評価の基準は出席時間数によって算定した出席率等（出席時間数÷出席定時間数）×100によるものとし、出席率が95%以上は優、90%以上95%未満は良、80%以上85%未満は可、80%未満は不可とする。 ※実技試験に関しては、評価する段階まで達していないため、2年前期で実技試験を行う。 実技試験は、全国動物専門学校協会サロントリマー3級とする。					
＜使用問題集・注意事項＞ 実習時に起こりうる事故の対応を検討しておく。					
＜関連科目他＞ グルーミング理論Ⅰ					

授業科目名		グルーミング実習Ⅰ
5H/回	授 業 内 容	備 考
1	1日の実習の流れ、道具のメンテナンスの仕方	
2	教員による実習デモンストレーション	
3	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
4	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
5	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
6	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
7	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
8	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
9	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
10	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
11	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
12	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
13	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
14	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
15	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	
16	モデル犬を使用しての実習（グルーミング）	